

令和4年第10回 定例会 蓮田市教育委員会会議録

招集年月日	令和4年10月28日	開会場所	蓮田市役所 301会議室			
開会の日時 及び宣告者	令和4年10月28日 午前9時30分 教育長 西山通夫					
教育長	蓮田市教育委員会教育長 西山通夫					
招集状況 及び出席状況	席次	氏名	備考	席次	氏名	備考
	1	西山通夫	出席	4	塚本聖子	出席
	2	飯野和之	出席	5	渡邊陽子	出席
	3	増田孝	出席	書記	加藤弘之	
議事参与者	<p>学校教育部長 槍田光東</p> <p>生涯学習部長 小宮雪晴</p> <p>生涯学習部参事兼社会教育課長 兼文化財展示館長兼中央公民館長 横田修子</p> <p>教育総務課長 鈴木聖雄</p> <p>学校教育課長 堀内健司</p> <p>子ども支援課長 坂口洋子</p> <p>保育課長 小林直美</p> <p>文化スポーツ課長 兼総合市民体育館長兼総合文化会館長 小野寺潤</p> <p>図書館長 下之園友子</p>					
傍聴者	なし					

会議の進行状況・顛末

開 議 令和 4年10月28日 午前9時30分

西山教育長、開会を宣言する。

西山教育長の命により塚本委員、渡邊委員 前回会議録（第9回定例会）に署名する。

教育長の報告

西山教育長から、以下の報告がなされた。

1. 長欠児童・生徒数について
2. 9月蓮田市議会定例会の議決結果について
3. 蓮田市教育の日について
4. 放射線の測定値について
5. その他

報告事項についての質疑

飯野委員 現在、コロナの影響も含めて、子ども・家族にかかわる相談は以前と比べて変わってきていますか。

坂口課長 コロナとの関係では、相談内容が大きく変わったということはありません。子育てに不安を持っている方が年々増えている感はあります。ネットの情報は正しいとは限らないのですが、鵜呑みにしてしまってネット以外の情報を受け付けなくなっている方が増えているように感じます。妊娠届が出された後、保健師がお母さんと面接するのですが、近年では精神科や心療内科を気軽に受診できる雰囲気になってきているためか、受診したことがあるお母さんが増えている印象があります。

飯野委員 長欠児童生徒の報告のなかにも、親御さんの疾患が要因になっているケースがありますし、子どもにとって切実な問題です。親御さんに対しての支援体制はどうでしょうか。

坂口課長 プレックスでは土日も相談できる体制になっています。実際に相談するかどうかは別としても、いざとなったら相談できるという印象は親御さんの安心感につながっていると感じています。先ほど言いましたように、既往歴のあるお母さんが増えていますので、丁寧な対応が必要です。こちらとしても、様子を見ていくか、連絡を積極的に取っていくか、1人1人のケースを判断して対応しています。待っているだけではなく、支援を受けることに積極的ではない方にも働きかけていっています。

小宮部長 家族の中の1人だけにスポットを当てるのではなく、家族ごとに見守り相談に応じられる体制をとってくれています。

増田委員 保育士さんの配置状況ですが、国の基準と蓮田市の配置とはどのような状況になっているのか。また、保育士の配置が難しい場合は補助員さんを配置していると思いますが、補助員さんの状況を教えてください。課題・問題点も併せて教えてください。

小林課長 国の基準と県の基準がありまして、県では国よりも手厚い基準にしております。蓮田市も県の基準に合わせていますので、国の基準よりも若干手厚いものとなっております。基準に比べ常勤職員が少ないので、多数の会計年度任用職員の保育士を任用して対応しております。有資格の応募だけでは人手が足りない場合、保育士の人数としてはカウントできませんが、保育補助の方を任用しています。このような形で人員を確保し

て、できるだけ子どもたちを手厚くみられるようにしています。

最も大きな課題は、人員の確保、特に有資格者が難しいことです。次に、会計年度任用職員の勤務時間の減少です。会計年度任用職員は臨時職員時代から比べると時給単価が上がっております。社会保険等の扶養の範囲内で働きたい方も多いので、時給単価が上がると結果的に勤務する時間が短くなってしまいう状況があります。常勤職員を増やすにしても、市としての職員定数が定められているので難しいところがあります。

増田委員 このところ、保育の事故等が多く報じられ、体制を整える必要を感じましたが、今のお話から、ある程度きちんと対応されていることはわかりました。

次にお伺いしたいのは、就学前に幼稚園に通園するお子さんと保育園に通園するお子さんとで受ける教育に差が出てきてしまうのではないかとということです。保護者の方に理解していただくために、いろいろな視点から説明していくことが必要と感じます。そのあたりについてはどのようにお考えですか。

西山教育長 これは私の持論ですが、小さいうちは泥んこになったり、友達と遊んだりといったことをいっぱいやって非認知能力をしっかり伸ばしておけば、後の伸びは全然違う。認知能力も後からぐっと伸びると思います。だからうちの保育園は勉強等よりもそちに力を入れてくれとお願いしてるのです。

小林課長 幼稚園は教育という観点からカリキュラムを編成し、プラスアルファの教育をしてくださっています。保育園に関しては、いま教育長が言ったとおり、年齢相応の健全な成長・発達を見守りながら、まずはお母さん、お父さんが安心して働けるようにお預かりして、ともに生育していくというやり方を目指しています。

公立の保育園が私立の認定こども園や幼稚園に匹敵するような素晴らしい教育カリキュラムを導入するためには多くの課題があります。保育園に子どもを預けたくても預けられない方が出てきますし、保育園は経済的な差に左右されない受け皿であるべきと考えます。

また、民間の事業に食い込むことで、その運営を阻害する形になってしまいますと、せっかくやっていたのに撤退されてしまう恐れもございます。ですので、まずは保育園の本分に沿った形を大事にしたいと考えております。

一方で、保育園もただ預かっているだけではなく、地域との交流の機会を設けて高齢者の方や小中学生と触れ合ったり、あるいは保護者会の御協力を得ながらイベントを起こしたりといったことは工夫してやらせていただいております。

鈴木課長 議事に入る前にお諮りいたします。報告第28号は公開で行いますが、「教育行政の執行状況に関する点検評価報告書」につきましては、議会への報告事項案件であることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、非公開で行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

全委員承認

議 事

(公開審議)

西山教育長、報告第28号「黒浜貝塚整備活用委員会委員の委嘱について」を報告する。
横田参事、朗読及び報告理由の趣旨説明を行う。

(非公開審議)

令和4年度教育行政の執行状況に関する点検評価報告書について、事務局からの説明の後、各委員による協議がなされた。

西山教育長の閉会宣言で第10回定例会は閉会となった。

閉議 午前11時20分